

学長メッセージ

学生の皆さんへ ～後期授業の開始にあたって～

秋の気配が深まる中、10月1日から、いよいよ後期授業が始まりました。

前期は、遠隔授業を基本としつつも、それでは対応が難しい実習・実験等の一部の科目については、徹底した感染防止対策を講じながら対面授業を実施し、通常の学事日程の範囲で円滑に教育活動を進めることができました。さまざまな制限のある中、一生懸命に学修に取り組んでくれた学生の皆さんの努力に、改めて心から感謝します。

しかしながら、今なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は収束する様子が見えません。とくにこれから、季節性のインフルエンザの流行の兆しもあることから、卒業研究に取り組む皆さんや就職活動が本格化する皆さん、さらに入学以来サークル活動等の課外活動を始める機会のなかった1年生の皆さんは、それぞれ様々な不安を抱えていることと思います。

これから始まる後期の授業につきましては、既にお伝えしているとおり、前期と同じく遠隔授業を原則としながらも学習効果を勘案し、一部には感染防止対策に十分配慮した上で対面授業を実施することとしております。本学では、本来、授業は対面授業により実施することが重要であると考えていますので、後期も全面的な対面授業実施に踏み切れないことは苦渋の決断でした。

大学としましては、今後も学生の皆さんの安心と安全の確保を第一に、その上で教育や活動の機会を最大限確保することを使命として対応していく所存です。

学生の皆さんの様々な不安につきましては、元より本学は各学科にチューター制度を設けており、小規模大学の良さを生かしたきめ細かい学生支援には定評があるところです。それに加えて、コロナ禍対応として、キャリアサポートセンターでは電話相談や遠隔プログラムの提供、健康サポートセンターでは、健康チェックや健康相談、メンタル相談事業等を強化しより積極的な取り組みを行っておりますので、どうか遠慮なくご相談ください。

おりしも、北キャンパスには新3号館が完成し、9月末には国際文化学部と社会福祉学部が引っ越しを完了しました。また、3号館には売店も営業を開始することとなり、学生の皆さんをお迎えする準備が整いつつあります。皆さんには、少しでもこの新しい学び舎を活用して、学生と教職員等とのコミュニケーションや学生同士の交流を深め、充実した大学生活を送っていただきたいと考えています。

これまで経験したことのない災禍が長期化する中、これからも変化する内外のコロナ禍の動向を冷静に踏まえつつ、本学としての“With Corona”の具体的な対処方策を、今後も全学の英知を結集して打ち出していくつもりです。また、学生の皆さんからのご提案も歓迎します。今後も、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年10月1日

山口県立大学学長 加登田 恵子